

## 福井の種子生産・栽培技術をミャンマーへ 農家の貧困緩和を目指し、「現地産」優良種子の普及体制構築に挑む

国際協力機構(JICA)が実施する「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」に採択された福井シード株式会社(福井市、井村裕治 代表取締役社長)は、この度、「ミャンマー国 野菜優良種子の生産・栽培技術移転及び流通基礎調査」に関するJICAとの業務委託契約を締結しました。調査期間は2016年6月14日より2016年12月27日までの6ヶ月間となります。

ミャンマーでは国民の約7割が農業に従事しており、今後の社会・経済成長のために農業開発が重視されています。農作物の生産性向上のためには品質の良い種子を育てる必要がありますが、現地では種子生産・育種の重要性に対する意識が低く、低品質・低付加価値の輸入種子に頼っている状況にあります。その結果、市場性を伴わない農作物の栽培が常態化しており、農村地域の貧困に繋がっています。

この問題に対し、同社の高品質かつ高収量を可能とする種子生産・栽培技術を現地の採種農家へ移転することで、栄養含有量や色・味・形状・収量等に優位性を持つ農作物の生産を行い、さらに現地の企業と連携して販売の仕組みを構築し、農村地域の所得向上及び貧困緩和を目指します。



本調査では、ミャンマーの種子生産・栽培・販売/流通状況調査、農家への技術指導方法確立に係る調査、また投資環境やマーケット等現地進出のための必要な調査を行います。

同社の取り組みにより、優良種子生産・流通システムの構築を通じて、市場で優位性を持つ農作物栽培が普及し、ミャンマーの農業生産性向上及び農村地域の生計向上に資することが期待されます。さらに北陸地域経済の活性化、両国の互助関係構築等にも繋がることも期待されます。

※ この調査は、我が国の中小企業を対象とした「中小企業海外展開支援事業～基礎調査～」として実施されます。基礎調査は、途上国の開発ニーズと日本の中小企業の優れた製品・技術等とのマッチングを行い、製品・技術をODA事業に活用するための情報収集・事業計画立案等を支援することを目的としたものです。2012年度から実施されており、2015年度分は昨年9月に公示、40件の応募のうち17件が採択され、契約交渉を経て順次調査を開始しております。

### 【本件に関する問い合わせ先】

JICA 北陸 松柴 (まつしば)

TEL : 076-233-5931 E-mail : Matsushiba.Yuka@jica.go.jp